

ヒアリングフレイル サポーター 初級講座

オンデマンド受講に
リニューアル!

スキマ時間に
ご自身のタイミングで
ご受講いただけます
※受講期間:購入後、60日以内

ヒアリングフレイルサポーター養成講座

累計受講者
2,900人以上
※2024年10月末現在

難聴高齢者との
音声対話の
課題を
理解できる

聞こえに関する
仕組みなどが
短時間で
理解できる

ヒアリングフレイル
サポーター初級講座を
動画で解説!



こんなことが学べます

- 老化による聴覚機能低下のメカニズム
- 耳が遠い方との会話の注意点とコツ
- 補聴器の仕組みと種類
- 難聴と認知症の関連性
- 認知症検査での難聴の影響
- アプリを活用したお耳の簡易チェック方法

ヒアリングフレイル サポーターとは?

ヒアリングフレイルサポーターとは、高齢の聞こえにくい人や聴覚障害がある人とのコミュニケーションを行う場合の「聴覚の基礎知識」と「対話支援技術」を学び、大きな声ではなく、相手に安心していただきながら対話ができる人を呼んでいます。

こんな方に受けてほしい



行政職員



医師



看護師



言語聴覚士



介護スタッフ

行政職員、医師、看護師、介護福祉士、PT、OT、ケアマネージャー、介護スタッフなど業務において、高齢の難聴の方や聴覚障がいをお持ちの方と音声においてコミュニケーションを行う必要がある方

高齢の難聴の方や、聴覚障害をお持ちの方との
コミュニケーションを取る機会が多い方に向けた受講内容となっています。



講座受講者には
受講修了証カードとリングを進呈しています。



ヒアリングフレイルサポーターリング



受講修了証カード

講座概要

- 対象……ヒアリングフレイルについてご興味がある方、どなたでも受講いただけます
- セット内容…全7章 (1章ごとご視聴いただけます)
- 受講時間……各章 10~15分
- 受講料……3,300円(税込)
- 支払方法……クレジットカード (VISA、MASTER、JCB、AMEX、ダイナース / 1回払いのみ) にてお支払ください。
- 受講期間……購入後、60日以内
- 受講形式……専用ページより会員登録後、パソコン・スマートフォン・タブレットからご受講いただけます。
- その他……10名以上の団体受講の開催希望等はお問い合わせください

【主催】NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会
【運営事務局】ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社
〒105-0022 東京都港区海岸1-9-11 マリンクス・タワー2F

TEL:0120-033-553
Mail:info@u-s-d.co.jp
https://u-s-d.co.jp/hfs/

詳しくはこちら



ご存知ですか? ヒアリングフレイル

ヒアリングフレイルは、聴覚機能の低下によって引き起こされる身体の衰え(フレイル)の一種です。これを放置すると、認知症やうつ病、要介護状態になるリスクが高まります。聴力低下はコミュニケーションの障害を生み、社会的孤立や心理的ストレスを引き起こすきっかけになります。

聴覚機能の低下が認知症診断結果の過小評価に繋がる研究報告をきっかけに、2018年に東京大学名誉教授／一般社団法人高齢者社会共創センター センター長である秋山弘子先生の協力の元、聴脳科学総合研究所 中石所長により示された新しい感覚器のフレイルです。

※記載の所属・役職等は当時のものです。

※フレイルとは虚弱を意味する英語「frailty」からできた言葉です。その中で「ヒアリングフレイル」は耳の比較的軽微な機能低下の段階から国民への意識啓発を高めるために作られた概念です。(「フレイル」と表記される場合も御座いますが、慣例的用いられる「フレイル」の表記とさせていただきます)

※「ヒアリングフレイル®」は、NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会を権利者とする登録商標(商標登録第6340673号)です。

受講者の皆様の声

塩野義製薬株式会社
野口 万里子 様

「加齢や病気などで私自身もそうなるかもしれない」「そのような人が周囲にいるかもしれない」それぐらい、聞こえにまつわる問題はとても身近なテーマです。

私自身、先天性の重度難聴者として当事者観点で聞こえに関する困りごとをSHIONOGIのコミュニケーションバリアフリープロジェクトを通じてお伝えしてまいりました難聴知識は当事者ですら正しく理解していないこともあります。専門家から話を聞くことができるヒアリングフレイルサポーター養成講座は、客観的なエビデンスをもとに詳しく学ぶことができます。

具体的な困りごとと聴覚の知識を「知る」ことで、聞こえにくい人も共に暮らしやすいユニバーサルな社会になることを願っています。

神奈川トヨタ自動車株式会社
ユニバーサルモビリティ部 様

神奈川トヨタ自動車は、単なる車販売ではなく、お客様の安全安心なカーライフの長期的サポートを目指しています。運転寿命延長には健康寿命の延伸が不可欠であり、そのため「運転ヘルスチェック」を提供しています。特筆すべきは、民間企業として全国初の認知機能検査実施機関となったことです。

最近ではヒアリングフレイルにも注目し、難聴が認知症と誤解されやすい問題や、その影響による高齢者の車生活早期離脱のリスクを認識しました。これらの問題は生活の質低下や身体フレイルにつながる可能性があります。

今後は聴脳力チェックアプリも活用し、聴覚の問題をより身近に感じていただける機会を提供しながら、安全で快適なモビリティライフの実現に貢献していきます。



「ヒアリングフレイル」提唱者
ヒアリングフレイルサポーター 認定講師

NPO法人 日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会
理事長

聴脳科学総合研究所 所長
修士(保健医療学)

国際医療福祉大学大学院 修士
山形県地域包括支援センター等協議会 アドバイザー

中石 真一路

1973年東京都生まれ、熊本県育ち。熊本YMCA専門学校建築科卒業。

建築施工管理に従事し、その後東京デジタルハリウッドに入社。QRコードのチケットレス機能のビジネスモデル特許出願や、携帯電話にQRコードリーダーを入れるなどプランナーとしての実績をもつ。前職のEMIミュージック・ジャパンにて約3年に亘る研究の末、世界初となる耳につけない対話支援システム「comuoon(コミュニケーション)」を発明。これまで不可能と言われてきた「スピーカーシステムによる聴覚障害者の情報アクセシビリティ」という新しい分野を確立する。2012年4月にユニバーサル・サウンドデザイン株式会社を設立、聴脳科学総合研究所所長として高精細音響が人体に与える影響や、聴覚リハビリテーションに関する研究を行っている。